

## 学校長 挨拶



新潟デザイン専門学校  
学校長 加藤一人

新潟デザイン専門学校は、昭和51年に日本海側初の総合デザイン教育機関として発足しました。開校当初、地方都市において、今日のようなデザイン志向の機運は想像できませんでした。当然なことながら、デザイナーという職業に対する一般の認識も低かったと言えます。それが経済・文化の成長と共に生活のゆとりができ、今では誰もがデザインに興味を持つようになり、より素晴らしいデザインに憧れと尊敬の念を抱くようになりました。

しかし一方においてデザイン業界は多様化し、より新しい企画・発想・手法が求められ、必然的にデザイナーにも能力的に大きな転機が迫られる厳しい環境もあることは否めません。そのため、人間力の育成を含めて、デザイン基礎・コンピュータ教育にも力を入れ業界に直結した教育を実施しております。

また、「国際化」という時代にも即応し、1983年にランス市立美術大学（フランス）との教育交流に着手。以来、1990年にはモンセラート美術大学（アメリカ）と教育提携を締結し、単位互換編入校として多くの卒業生が編入学をしております。現在では海外教育提携校は10ヵ国15校となり地球規模のネットワークを築きあげております。

デザインをする心は、日々の訓練と努力によってさらに高められ養われます。そして、創造する力の源は、人間としての個の経験・体験の積み重ねの中から自ら選択し再構築することにあるのではないのでしょうか。

感覚の表現であるデザイン、感性の産物である芸術は自由な空間に生きる生命の発露であると言えます。

そこでは知識と技術の研鑽によってなし得る高度な表現力が、皆さんをスペシャリストにしてくれるのです。

単に技術の習得のみならず、社会人としての自覚を持ち、豊かな創造性と明るく強い意志とを兼ね備えた「人間」に育ってほしいと私達教職員スタッフは強く願っています。